

1. 活動報告（事務局 記）

—10月23・24日（水・木）24日は雨の予報と糶摺り機の都合により、急遽脱穀をしました。9名の方が参加され、ハゼ掛けの稲の脱穀を終えました。24日善和西村会員宅にて臼挽を完了しました。収穫量は玄米で215kg（3表半と5kg）ありました。

—10月31日（木）二俣瀬小学校の生徒（3～4年生、16名）による【秋の昆虫探し】をビオトープ内で行いました。担当の新田先生他3名の先生と、ビオトープより菅・前田会員で対応いたしました。（引率の先生：新田・山本・藤原・鈴川）すでに秋も深まり、昆虫は少なかったのですが、チョウ・トンボ・バッタ・キリギリス・カマキリなどを見つけ、生徒たちは思った以上に盛り上がりました。

—11月3日（日）会員11名が参加し、湿地帯の草刈り、須賀河内川内のヨシ刈り、はぜかけに用いた竹の整理および補修、倉庫の整頓の作業を実施しました。

—11月12日（火）宇部工業高校生徒によるボランティア活動がありました。湿地帯のエコアップ、須賀河内川の葦の片づけ、たんぼ“よけじ溝”の泥上げなどの作業をされました。原田会長、関根・菅・前田会員が対応されました。

—11月16日（土）会員12名が参加し、湿地帯の除草、除去草の片付けの作業を実施しました。

—11月23日（日）親子自然観察隊は里山の暮らしとして、芋焼きとしめ縄づくりをしました。落ち葉を集めて火をつけて、焼き芋の用意をし、藁を使って、縄編み、しめ縄作り、輪飾り作りをして、途中で芋を焚火に入れて、作業をして、最後に芋を取り出し美味しく食べました。参加者は、親子自然観察隊36名（親17名、子19名）、会員13名でした。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

—12月7日（土）収穫祭準備（洗米・会場づくり）

—12月8日（日）収穫祭（餅つき）親子自然観察隊・二俣瀬子ども会・他招聘

—12月8日（日）親子自然観察隊解散式

—12月28日（土）維持活動・年末懇親会

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 「コラム・冬の風情」 (原田満洲夫 記)

二俣瀬小学校の児童の毎朝の登校に付き添って見る風景。今年も厚東川の木田橋付近に渡り鳥のカルガモが飛来した。11月初めより12~3羽・多い時は20羽近くが羽を休めている。毎年見る風景であるが今年も地異転変が無く平穏に過ごせるのだろうか？しかしながらこの10年この渡り鳥達も数が減少し・種類も減っていることは確かである。

川辺の永山酒造場は宇部市でも数多くあった酒蔵の只一つの生き残ったと云うか？盛況に醸造を続ける酒蔵となっている。11月初めより寒造りが始まり毎朝朝日が漏れる湯気を通して川面の渡り鳥達を照らしている。ああ！平和だなあ

5. 親子自然観察隊 「里山の暮らし」 (菅 哲郎 記)

昨年は朝の気温が2℃と、とても寒かったのですが、今朝の気温は12℃で、お天気は上々、素晴らしいお天気に恵まれました。今年も「焼き芋を作る」作業を取り入れました。昨年は隊員たちに「火をつける」作業ができず、一番大事な作業を省き、残念に思いましたので、今年はそんな思いをしないようにしっかりと計画し、枯れ葉に火をつける作業ができました。その前に隊員全員で落ち葉集めを行いました。

落ち葉集めはあまり関心がないのかなと思っていましたが、思った以上に親子が頑張り、驚きました。あっという間に枯れ葉も集まり、早速、全員を集め「火付け」の講習！初めての子供も多かったようですが、思った以上に上手に火をつけていました。中には2度、3度と火を付けた子供もいたようです。

火遊びは危険と隣り合わせ、しかし、人間の能力を引き出し、生きてゆくうえで欠かせない技術です。幸い、ビオトープでは市街地ではなく農村地帯であり焚火が許されています。これもラッキーなことです。宇部市内の住宅街では焚火はできません。

しめ縄づくりも毎年の行事ですが、上手な子は長い縄を編んでいました。しめ縄づくりは大変でも少しづつ訓練し「しめ縄」が作れるようになればうれしいですね。このような機会はないかなありません、親子自然観察隊にいる間にできるようになりましょう。

今日はお父さんが多く参加されていたようで、子供たちにとっては気合が入ります。なぜか今日だけ快晴になり、さわやかな気候の中でイベントが進みました。焼き芋で“やけど”するかな？と思っていたのですが、やけどする子もなく無事に終わりました、何よりでした。

100個ほどの芋を準備しましたが、ほぼ完食したようで、驚きました。芋を焼くスタッフの方々もなかなか芋が焼けず暑さとの戦いで難儀をされていたようですが。しかし、無事おいしく焼きあがり、たくさん食べていただきました、有難うございました。



落ち葉を集めました



枯れ葉に火をつけます



しめ縄づくり



焼き芋を掘り出し試食会

親子自然観察隊の感想

★有吉遼

今年はやっと一人でもちゃんとしめ縄をつくれました。自分で火をおこして焼いた焼き芋は甘くて美味しかったです。

★三谷悠斗

おちばを集めて、自分で火をつけて燃やし、焼き芋をまつ時間の全てが楽しかったです。みんなで食べるやきいもはとってもおいしかったです。ヨモギハムシにも出会えて嬉しかったです。

★三谷(母)

焼き芋が出来上がるまでの時間で、しめ縄作りをするなど、今回も楽しい事が盛りだくさんで、子供たちも終始とても楽しそうでした。しめ縄作りでは、親の私も知らないことがたくさんあり、とても興味深く勉強になりました。ありがとうございました。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(45) クロゲンゴロウ *Cybister brevis*

(甲虫目 ゲンゴロウ科) 山口県ランク：準絶滅危惧種

大きさはコガタノゲンゴロウとほぼ同じで、体の両側に黄色いラインがありません。小型のガムシといったところでしょうか。大きさは20 mm前後です、ガムシは30 mm前後ですから見分けはできます。新成虫は8月から9月に出現しますが、山口県では5月～10月に採集されています。

水生植物の豊かな池沼や放棄田の水溜まり、水田わきの溝などに生息します。山口市、岩国市、萩市、下関市で採集されていますが、研究者も少なく十分な調査がなされていないので、宇部市でもこれから発見されるかもしれません。



クロゲンゴロウ 岩国市



ガムシ 山口市

参考文献

海野和男、2013. フィールドガイド身近な昆虫識別図鑑. 254pp. 誠文堂新光社. 東京.
山口むしの会希少昆虫類選定委員会 (編), 2011. 山口県の昆虫類レッドリスト 2011. 198pp.

7. 会よりの連絡事項

- 1) 12月8日(日)の収穫祭—2に向かって準備しています。玄米の215 kgを精米し一部を販売いたしました。残り2俵半(150 kg)を収穫祭で餅を搗きます。この量は昨年一昨年と同じです。
 - 2) 12月7日(土)午後1時より前準備の為集合願います。米の水洗いは永山酒造場さんの機械を利用させていただきます。その他もみ台とテントの設置・蒸す機器の設置・一時保管場所の準備等々2時間程度かかります。
- ※11月17日に行われた二俣瀬校区ふれあい文化祭に「里山ビオトープ二俣瀬」をアピールする為、所有の5枚看板を掲示しました。毎年のことながらつくる会に於いて、我々の活動をアピールする事が今後の維持管理・しいては会員の募集の宣伝にもなるのではと云われました。

8. 編集後記 （ 大野 靖子 記 ）

10月に福川子どもクラブの活動で、徳山動物園探険を行いました。午前中は、野鳥観察所担当の職員さんに、野鳥観察所ができてから、どのような視点で当該エリアを作りこんでいったか（エンリッチメントのお話。）を写真等で教えて頂き、双眼鏡の使い方、鳥の観察、鳥のエサ台の作成をしました。日本に自然に生えているのと同種の植物を植えたり、鳥がエサを探せるようにしたり、通常は鳥が見やすい展示であるところ、この観察所では、お客さんが鳥を探さなければいけない作りをしたり、鳥もお客さんも飽きの来ない楽しいエリアにしたいと心がけられたそうです。午後からはボランティアさんたちの劇を見せて頂きました。徳山動物園では来年度に向け、動物園に来られるお客さん達の体験を豊かにし、動物が暮らす環境の現状を伝えるため、動物を通じて環境の大切さをインタープリターが伝えるアクティビティに取り組中だそうです！この日は、山口湾の干潟で過ごすクロツラヘラサギが、釣り糸やビニールゴミで環境が汚されてとても困っているという劇を見せていただきました。動物園としては、全国初の取り組みだそうですので、この度、お試し対象とさせて頂きました。ボランティアさんの中に、何と！里山ビオトープ二俣瀬を作る会の会員さんのお姿が…！ありがとうございました♪